

企業文化醸成に向けた取組み

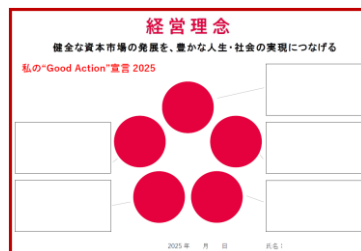
- 当社は、社会的使命「健全な資本市場の発展を、豊かな人生・社会の実現につなげる」の実現に向けて、経営理念に則した行動(Good Action^(*))の実践・習慣化への取組みを進めています。
- 2025年度は、経営理念ミーティングや「不祥事を学び継ぐ日」の取組みを継続的に実施するとともに、社内向け決算説明会や社内SNSの導入など、インナーコミュニケーション基盤の拡充を進め、経営理念の浸透と企業文化の醸成を一層推進しています。

経営理念ミーティング

創業記念日の7月7日を「**経営理念の日**」と位置づけ、経営理念を軸に自らの取るべき行動を考え実践へとつなげる経営理念ミーティングを毎年開催

<2025年度の取組み>

- 全役社員がグループディスカッションを実施
- 経営理念／大切な価値観に則した具体的な行動を考え、その実践を宣言する「私の“Good Action”宣言」を策定(2023年度から開始し、2025年度は3つ目の宣言を策定)

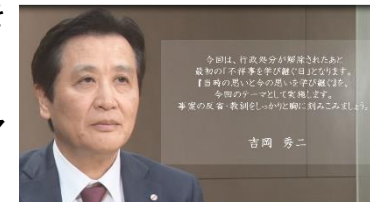


不祥事を学び継ぐ日

10月に「**不祥事を学び継ぐ日**」を設定し、全役社員が過去の不祥事を振り返り、再発防止に向けた想いを引き継いでいく活動を毎年実施

<2025年度の取組み>

- 不祥事を学び継ぐ日に合わせて相場操縦事案や銀証ファイアーウォール規制違反事案を受けた改善計画の進捗全体を経営において振り返る取組みの継続
- 「当時の思いと今の思いを学び継ぐ」をテーマに、行政処分が解除されてから1年が経過、会社全体の気を引き締めることを目的として、2022年事案の当時の思いと今の思いを共有を目的に動画視聴とディスカッションを実施



インナーコミュニケーションの活性化・推進

各役社員の考え方や個性を尊重しつつ、全役社員が経営理念を共通の行動原理とする状態を目指し、全社的なコミュニケーションの活性化・推進を実施

<2025年度の取組み>

- 経営理念に則した行動の推進を担うGood Actionリーダーの活動を強化
- 役社員が当社ビジネス状況への理解を深め、経営陣とのコミュニケーションを語ることを目的とした社内向け決算説明会を実施
- 役社員同士の交流を深め、風通しの良い組織風土を根付かせることを目的とした社内SNSをリリース

リスクカルチャーの浸透・推進

リスクカルチャー(お客さまや社会からの信頼を損ねるようなリスクに対する向き合い方・行動の仕方^(*))に沿った行動の浸透を推進

<2025年度の取組み>

- リスクカルチャー浸透に向け、部門ごとに施策を策定。各部門の取組や全社的な取組をリスクカルチャー担当役員会議にて議論し、90日間の周期にてPDCAサイクルを回す「90日間プログラム」を推進中
- 本中計期間(2023-2025年度)における行動変革のステップを定めており、2025年度は「行動の維持・定着化」を目指し、取組みを実施

認知・理解

意識した行動の
実践

行動の維持・
定着化

...

(*)「プロフェッショナルとして大切にしている価値観」を体現するための指針として、具体的な行動を「行動規範“Good Action”」として定めています

(*) 目指すべきリスクカルチャーとして「リスクへの向き合い方(感度高くリスクを察知し、責任を持つこと)」、「連携(その実態を理解し、とるべきリスクなのか慎重に検証・判断するため連携すること)」、「リスクへの対処(つねに、適切に、迅速にリスクに対処していくこと)」の3段階の特性を大切にしています